

あかりをつけるには？

ふしぎを見つけるときの評価基準

S

あかりがつくつなぎ方のふしぎを理由といっしょにせつ明でき、さらに何と何をくらべて、どこをふしぎに思ったのかをわかりやすくあげてせつ明できている。

A

あかりがつくつなぎ方のふしぎを見つけることができ、どうしてふしぎに思ったのかをせつ明できている。

B

あかりがつくつなぎ方のふしぎを見つけることができているが、どうしてふしぎに思ったのかをせつ明できていない。

C

あかりがつくつなぎ方のふしぎを見つけることができず、どうしてふしぎに思ったのかをせつ明できていない。

具体的な記述の例

※学習課題に直接向かう「ふしぎ」でなくとも比較することで見つけた「ふしぎ」は質が高いと考える

「何に注目してくらべた？」
どう線の色のちがいがい。

「ふしぎに思うこと」
どう線の色の向きがちがってもあかりがつくこと。

「ふしぎに思った理由」
あかりがつくつなぎ方をしたときでも、どう線の色をぎやくにするとあかりはつかなくなると思ったから。

「ふしぎの見つけ方について思ったこと」
あかりがつくつなぎ方をしたときのどう線の色に注目したとき、どう線の色の向きをぎやくにするとあかりはつかなくなると思った。
でも、つなぎ方を変えて実験したところ、あかりがついたので、予想とくらべてちがうことに気づき、ふしぎが見つかった。

「何に注目してくらべた？」
どう線の色のちがいがい。

「ふしぎに思うこと」
どう線の色の向きがちがってもあかりがつくこと。

「ふしぎに思った理由」
あかりがつくつなぎ方をしたときでも、どう線の色をぎやくにするとあかりはつかなくなると思ったから。

「ふしぎの見つけ方について思ったこと」
わからない（書けていない）

「何に注目してくらべた？」
どう線の色のちがいがい。

「ふしぎに思うこと」
どう線の色の向きがちがってもあかりがつくこと。

「ふしぎに思った理由」
ちがうとあかりはつかなくなると思ったから。

「ふしぎの見つけ方について思ったこと」
わからない（書けていない）

「何に注目してくらべた？」
わからない（書けていない）

「ふしぎに思うこと」
あかりがつくのがふしぎだった。

「ふしぎに思った理由」
わからない（書けていない）

「ふしぎの見つけ方について思ったこと」
わからない（書けていない）